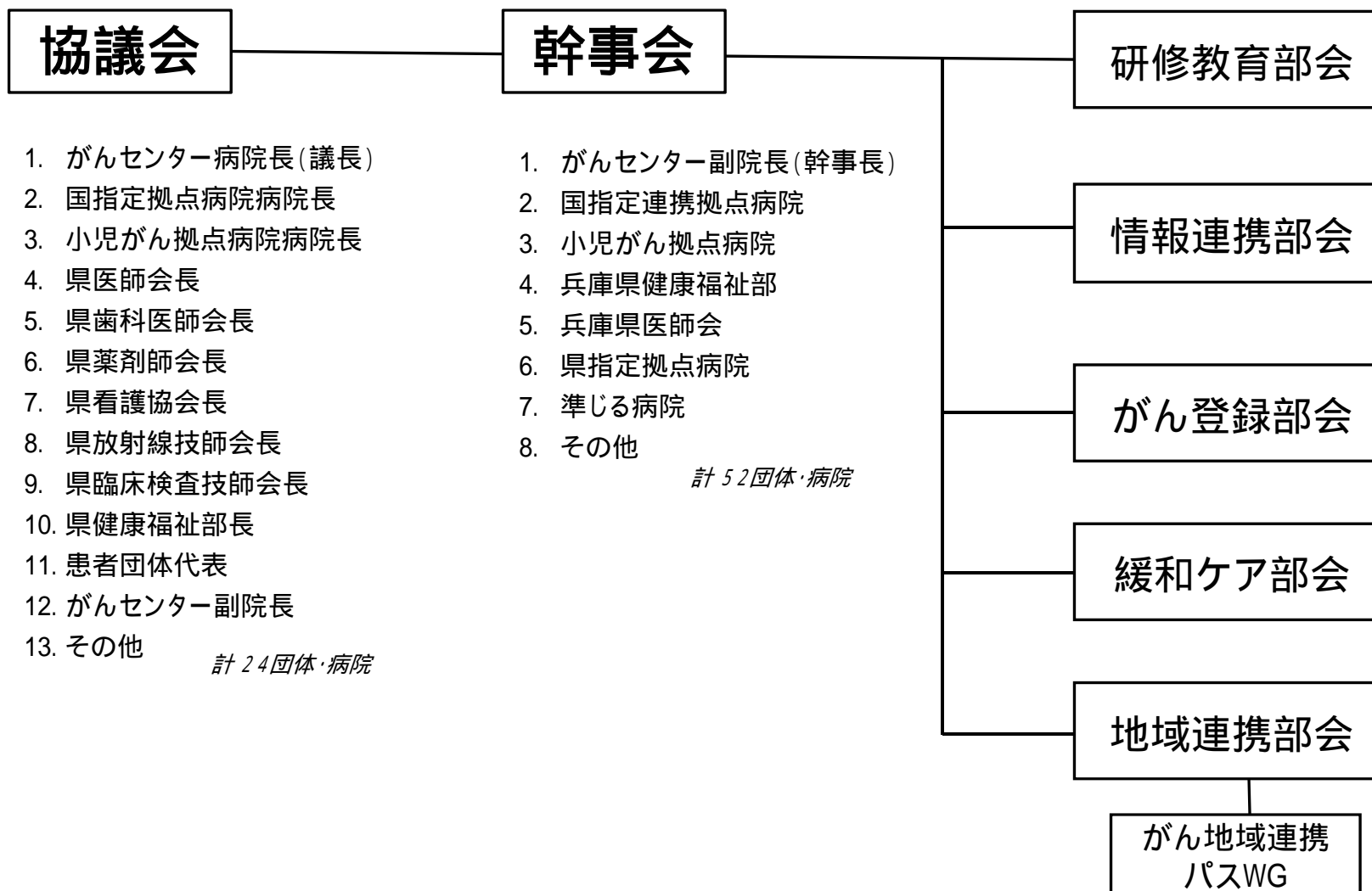


兵庫県がん診療連携協議会の組織体制



(3)協議会・幹事会並びに各部会の平成28年度活動報告
及び平成29年度活動計画について

兵庫県がん診療連携協議会・幹事会関連

項目	内容
平成28年度の活動報告	<p>平成28年4月21日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第11回) 開催</p> <p>平成28年6月9日(木) 第1回幹事会 開催</p> <p>平成29年2月23日(木) 第2回幹事会 開催</p> <p>平成28年11月19日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第6回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 168名参加 場所:兵庫県民会館9階「けんみんホール」 テーマ:「がんと免疫」 担 当: 兵庫医科大学病院(代表)、関西労災病院、近畿中央病院、県立柏原病院</p>
平成29年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>平成29年4月20日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第12回) 開催</p> <p>平成29年6月15日(木) 第1回幹事会 開催</p> <p>平成30年2月22日(木) 第2回幹事会開催予定</p> <p>平成29年11月18日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第7回「ひょうご県民がんフォーラム」開催予定 場所:兵庫県民会館9階「けんみんホール」 テーマ:「最新のがん治療(仮)」 担 当: 神戸大学医学部附属病院(代表)、神戸市立医療センター中央市民病院、 神戸市立西神戸医療センター、県立こども病院</p>

兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項目	内容
平成28年度の活動報告	<p>看護実務研修の開催(県立がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年 5月30日～ 9月9日のうち34日間 <p>がん診療連携拠点病院を対象とする</p> <p>「第2回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催</p> <p>平成28年9月10日(土) 兵庫県立がんセンター 2F 大会議室</p> <p>テーマ「免疫チェックポイント阻害薬の適正使用～多職種アプローチ～」 20名参加</p> <p>セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 肝がんセミナー 平成28年10月15日(土) 県民会館「けんみんホール」 テーマ「肝がん撲滅を目指した治療戦略」 74名参加 放射線セミナー 平成28年10月29日(土) 神戸市教育会館 大ホール テーマ「乳がんの早期診断と最新治療」 219名参加 検査セミナー 平成28年12月17日(土) 兵庫県学校厚生会館 テーマ:「悪性リンパ腫」検査と治療 up to date 196名参加 薬剤師セミナー 平成29年1月21日(土) 兵庫県私学会館 テーマ:「免疫チェックポイント阻害剤の有害事象管理を学ぶ」 及び「がん指導・専門薬剤師の役割を学ぶ」 201名参加 <p>共催研究会・県民フォーラムなど</p> <ul style="list-style-type: none"> 第6回ひょうご県民がんフォーラム 平成28年11月19日(土) 県民会館 テーマ:「がんと免疫」 168名参加 <p>担当施設:兵庫医科大学大学病院(地域別で持ち回りにて開催する)(再掲)</p>
平成29年度の活動計画及び今後の検討課題等	<p>看護実務研修の開催(県立がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年 5月30日～ 9月8日 <p>がん診療連携拠点病院を対象とする</p> <p>「第3回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催</p> <p>平成29年9月23日(土) 兵庫県立がんセンター 2F 大会議室</p> <p>テーマ「免疫チェックポイント阻害剤 -チームで行う副作用マネジメント-」</p> <p>セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来化学療法セミナー(仮) 平成29年10月7日(土)or10月28日(土) 場所:未定 テーマ:「未定」 放射線セミナー 平成29年11月25日(土) 神戸市教育会館 大ホール テーマ:「未定」 検査セミナー 平成30年 1月13日(土) 兵庫県私学会館 テーマ:「未定」 薬剤師セミナー 平成30年1月20日(土) 兵庫県私学会館 テーマ:「未定」 <p>共催研究会・県民フォーラムなど</p> <ul style="list-style-type: none"> 第7回ひょうご県民がんフォーラム 平成29年11月18日(土) 県民会館 テーマ:「最新のがん治療(仮)」 <p>担当施設:神戸大学医学部附属病院(代表)、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立西神戸医療センター、県立こども病院</p>

第7回ひょうご県民がんフォーラム（案）

テーマ：「最新のがん治療（仮）」

日時：平成29年11月18日（土） 14：00～16：30（開場 13：30）

会場：兵庫県民会館9階「けんみんホール」

共催： 兵庫県がん診療連携協議会、神戸大学医学部附属病院、兵庫県を予定

後援： 兵庫県医師会、兵庫県看護協会、ひょうごがん患者連絡会、神戸新聞社に依頼予定

次第

14：00(15分) 開会あいさつ（主催者・来賓） 司会： 選定中

主催者あいさつ 兵庫県がん診療連携協議会議長

来賓あいさつ 兵庫県健康福祉部長へ依頼予定

兵庫県医師会長へ依頼予定

14：15～14：45(30分)

講演1 「ロボット手術について」

神戸大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 藤澤 正人

14：45～15：15(30分)

講演2 「安全で安心ながん治療 放射線治療の最前線」

神戸大学医学部附属病院 放射線腫瘍科 特命教授 佐々木 良平

15：15～15：25(10分) 休憩

15：25～15：55(30分)

講演3 「最新の分子標的薬」

神戸市立医療センター中央市民病院 腫瘍内科部長 安井 久晃

15：55～16：25(30分)

講演4 「免疫チェックポイント阻害薬」

神戸大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科 清田 尚臣

16：25(5分) 閉会あいさつ 神戸市立医療センター中央市民病院 高橋副院長

〔平成28年度 P D C A サイクル実施計画・管理表〕

平成29年 3月 末 現在

病院名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
研修教育部会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	兵庫県では、平成19年からがん診療連携協議会を組織し、幹事会の中の研修教育部会において、放射線療法、化学療法、手術療法に携わる医療関係者の育成と、チーム医療の推進を図ってきており、さらに進める方針。	県立がんセンターにおけるがん看護実務研修の開催 平成28年 5月30日～ 9月9日のうち34日間	H28年9月		概ね達成	がん実務参加者 10名 ・全期間を通じた聴講者を含む延べ参加者数906名 ・院内他職種71名、他病院看護師116名、訪問看護 126名、在宅介護30名 ・参加者の増加が図れた。 ・がんセンターの参加者だけでなく、訪問看護ステーションの参加者、看護以外の介護職や薬剤師等の参加もあり、概ね達成できた。	継続	各種会議や研修会等において、地域包括ケアを見据えて、訪問看護ステーション、地域包括ケアセンター等に案内用紙を配布して参加者の増加を図る。 研修内容は、せん妄を追加する。院内研修とコラボできる研修は整理する。
		研修教育部会で8年間にわたってセミナーやフォーラムを開催し、一定の成果が得られたが、拠点病院間、各圏域での周知不足や意識の差が大きい。	セミナーの開催 1) 肝がんセミナー 平成28年10月15日(土) 県民会館「けんみんホール」 テーマ「肝がんの診断と治療 -update-」(仮題) 2) 放射線セミナー 平成28年10月29日(土) 神戸市教育会館 大ホール テーマ「乳がんの早期診断と最新治療」 3) 検査セミナー 平成28年12月17日(土) 兵庫県学校厚生会館 テーマ「悪性リンパ腫」検査と治療 up to date 4) 薬剤師セミナー 平成29年1月21日(土) 兵庫県私学会館 テーマ「免疫チェックポイント阻害剤の有無事象管理」 「がん指導・専門薬剤師の役割」	H29年3月		概ね達成	医師、薬剤師、看護師、放射線技師など、チーム医療に関わる医療従事者を対象に、それぞれの観点からセミナーを行い、医療レベルの向上を図っている。 1) 肝がんセミナー 参加 74名 平成28年10月15日(土) 県民会館「けんみんホール」 2) 放射線セミナー 参加 219名 平成28年10月29日(土) 神戸市教育会館 大ホール 3) 検査セミナー 参加 196名 平成28年12月17日(土) 兵庫県学校厚生会館 4) 薬剤師セミナー 参加 201名 平成29年1月21日(土) 兵庫県私学会館 大ホール	継続	国指定・県指定及び準じる病院の拠点病院に対し、積極的な参加を呼びかける。
		セミナーやフォーラムへの参加者の増加には繋がっていない。今後は、セミナーへの参加者増に向けた企画立案など、工夫や改善が必要である	県民フォーラムなど(予定) 第6回ひょうご県民がんフォーラム 平成28年11月19日(土)県民会館 テーマ「がんと免疫」 担当施設：兵庫医科大学大学病院(地域別で持ち回りにて開催する)(再掲) 協議会との共催に同意が得られた研究会・懇話会の順次開催(http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載)	H29年3月		達成	県民へのがんに対する知識の啓蒙活動として、今回は「がんと免疫」を取上げ、その最先端の情報を発信できた。 第6回ひょうご県民がんフォーラム 参加人数 161名 地域ごとに行われている研究会などの後援を行っている。	継続	来年度も引き続き、第7回ひょうご県民がんフォーラムを開催し、県民へのがんに対する知識の啓蒙を目的とした啓蒙活動を続けていく。 各種研究会との連携を考慮し、引続き研究会などの後援を行う。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《平成29年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

平成29年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	兵庫県では、平成19年からがん診療連携協議会を組織し、幹事会の中の研修教育部会において、がん疾患に関連する手術療法、化学療法、放射線療法、に携わる医療関係者の育成と、チーム医療の推進を図ってきており、さらに進める方針。	<p>県立がんセンターにおけるがん看護実務研修の開催 (実施期間:平成29年5月30日～9月8日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者増加のため、聴講生募集案内を広報誌に同封して県内851施設に送付。 ・多職種連携を推進するため、聴講生は看護師以外でも参加可とする。 ・聴講者が興味のある講義に参加しやすいように、聴講内容の狙いを整理し、関連する講義内容を1日に固めるよう調整 ・がん医療の進歩に合わせて講義内容の見直しを実施し、免疫チェックポイント阻害剤や遺伝子治療、せん妄やオンコロジックエマージェンシー等の講義を追加する。 	H30年 3月末					
	研修教育部会で9年間にわたってセミナーやフォーラムを開催し、一定の成果が得られたが、拠点病院間、各圏域での周知不足や意識の差が大きい。	各種セミナーの開催	<ol style="list-style-type: none"> 1)外来化学療法セミナー(仮) 平成29年10月7日(土) 県民会館「けんみんホール」 2)放射線セミナー 平成29年11月25日(土) 神戸市教育会館大ホール 3)検査セミナー 平成30年1月13日(土) 兵庫県私学会館大ホール 4)薬剤師セミナー 平成30年1月20日(土) 兵庫県私学会館大ホール 	H30年 3月末					
	セミナーやフォーラムへの参加者の増加には繋がっていない。今後も、さらに、セミナーへの参加者増に向けた企画立案など、工夫や改善が必要である	<p>県民フォーラムなど開催 第7回ひょうご県民がんフォーラム 日時：平成29年11月18日(土) 場所：県民会館「けんみんホール」 テーマ：最新のがん治療(仮)</p> <p>協議会との共催に同意が得られた研究会・懇話会の順次開催 (http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.htmlに掲載)</p>	H30年 3月末						

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会について	協議会・幹事会開催記録	がん診療連携拠点病院とは	これまでの活動報告	今後の予定
----------------------------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------------	-----------------------



TOPICS

医療関係者の方へ

07/12「第16回兵庫頭頸部腫瘍研究会」を開催します。

医療関係者の方へ

07/08「第10回兵庫県婦人科がん診療連携懇話会」を開催します。

医療関係者の方へ

06/22「宝塚市立病院勉強会『もっと知ってほしい 肺がんのこと』」を開催します。

医療関係者の方へ

05/27「H29年度第2回兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会共催講演会」を開催します。

医療関係者の方へ

05/25「宝塚市立病院勉強会『乳癌とチーム医療』」を開催します。

医療関係者の方へ

05/24「第74回兵庫緩和ケア研究会」を開催します。

一般の方へ **医療関係者の方へ**

05/20「第76回西宮市民健康講座」を開催します。

医療関係者の方へ

04/14「第27回兵庫大腸癌治療研究会」を開催します。

-  [がん診療連携拠点病院](#)
-  [兵庫県がん地域連携バス](#)
-  [兵庫県緩和ケア研究会](#)
-  [兵庫県がん対策推進計画](#)
-  [兵庫県がん登録情報](#)
-  [がん相談受診センター 一覧](#)
-  [関連情報リンク](#)

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項目	内容
<p>平成28年度の活動報告及び今後の検討課題等</p>	<p>1 活動計画</p> <p>・がん相談実務者ミーティングの開催;4回/年を予定</p> <p>第29回会議 2016年6月4日(土) 13:30～15:30 場所:神戸大学医学部附属病院 外来診療棟4F第二会議室 [内容]PDCA実施状況チェックリストを用いた課題の共有、その他</p> <p>第30回会議 2016年10月1日(土) 13:00～16:00 場所:県立がんセンター大会議室 [内容]「兵庫県がん相談員研修」として別紙研修企画に基づいて開催 国立がん研究センター認定がん専門相談員の単位研修</p> <p>第31回会議 2016年12月10日(土) 14:00～16:00 場所:県立がんセンター大会議室 [内容]ピアサポーター活用事業に関するキックオフミーティング</p> <p>第32回会議 2017年2月25日(土)(予定) 13:30～15:30 場所:県立がんセンター大会議室 [内容]PDCA実施状況チェックリストを用いた課題への取り組み状況評価の共有、産保センターの事業紹介</p> <p>・がん相談実務者ミーティング事務局会議の開催</p> <p>第14回会議 2016年4月25日(月) 15:00～17:00 場所:神戸大学医学部 新緑会館 研修室2 [内容]兵庫県実務者ミーティングの今年度の計画検討</p> <p>・ピアサポーター事業開始に向けての準備を進める。</p> <p>・神戸大学と共催で、ピアサポーター養成研修会を開催する</p> <p>第15回会議 2016年6月4日(土) 15:30～17:00 場所:神戸大学医学部附属病院 外来診療棟4F 会議室2 [内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ピアサポーター事業概要について 2.今年度の実務者ミーティングの研修内容について 3.事務局運営について 4.がん相談の質向上への取り組みについて 5.就労支援について 6.その他 <p>第16回会議 2017年2月6日(月) 15:00～17:00 場所:神戸大学医学部附属病院 外来診療棟4F 第2会議室 [内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.今年度の活動評価と次年度の目標・計画立案 2.ピアサポート事業研修内容 3.H29年度 がん相談実務者ミーティング開催日の検討 <p>2 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会</p> <p>第7回部会 2016年5月19日(木) 13:00～16:30 場所:国立がん研究センター国際交流会館3階 [内容]がん相談支援センターのPDCAサイクルの確保・活動の可視化について、その他</p> <p>第8回部会 2016年12月8日(木) 13:00～16:30 場所:国立がん研究センター国際交流会館 国際会議場 [内容]がん相談支援センターをめぐる課題とその対応について その他</p>
<p>平成29年度の活動計画及び今後の検討課題等</p>	<p>1 活動計画</p> <p>1) がん相談実務者ミーティングを年4回開催する</p> <p>[日程] 6/10, 9/30, 12/16, 日程調整中</p> <p>[内容]事例検討、認定がん専門相談員単位認定研修の実施、患者会との交流会、各施設の活動評価の共有</p> <p>がん患者の就労支援を行う体制づくりをする。</p> <p>がん患者のピアサポートの体制づくり・継続を支援する。</p> <p>・2017年9月30日、10月1日にピアサポーター養成研修を神戸大学で開催する</p> <p>・ピアサポーターの活用状況について実務者ミーティングの際に確認する。</p> <p>情報・連携部会のとがん相談実務者ミーティングを合併する</p> <p>県内のがん相談支援の質向上を推進する人材を育成する。</p> <p>2) 地域がん相談支援フォーラムin近畿への運営支援</p>

《平成28年度PDCAサイクル実施計画・管理表》

平成29年 3月末 現在

部会名	P 実施計画				D 実施管理			
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期(予定)	D 実行	C 評価		A 改善
						区分	実施内容	区分
情報 連携 部会	がん相談支援の質の向上、活用の促進に努める	がん相談支援の質がどうなっているかが把握されていない。各病院の相談支援部門がどのような課題を持っており、どのように質の改善に努めているのかわからない。	1) 各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う。 2016年6月までに、各病院の相談支援部門の活動を国立がん研究センターが作成したチェックリストを用いてチェックし、問題点を明らかにする。 上記は毎年3月に定期的に行うこととする 2) 各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う。 PDCAサイクルの書式に則り、2016年6月までに医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる。 3) 各病院の相談員の能力の維持向上を図る。 実務者ミーティングを年4回開催し、研修会、事例検討、経験交流、患者会との交流などを行う。	H29年3月	達成	1)2)については、2016年6月の第1回実務者会議で、各施設でチェックリストの記入を行い、各病院の質の改善計画をPDCAに基づき立案した。 3)については、実務者ミーティングを4回開催。 H28年度第1回会議 H28年6月4日(土)会場;神戸大学医学部付属病院外来診療棟 第2会議室 参加者34名 内容:各施設の質改善計画の共有 H28年度第2回会議 H28年10月1日(土)会場;兵庫県立がんセンター 参加者38名 内容:認定がん専門相談員認定単位研修テーマ;就労支援 H28年度第3回会議 H28年12月10日(土)会場;兵庫県立がんセンター 参加者39名 内容:ピアサポーター活用事業キックオフミーティング H28年4回会議 H28年2月25日(土)会場;兵庫県立がんセンター 内容:各施設の質改善活動の評価、兵庫県産業保健総合支援センター事業紹介	継続	1)各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う 2017年6月までに、各病院の相談支援部門の活動を国立がん研究センターが作成したチェックリストを用いてチェックし、問題点を明らかにする 上記は毎年3月に定期的に行うこととする 2)各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う PDCAサイクルの書式に則り、2017年6月までに医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる 3)各病院の相談員の能力の維持向上を図る 実務者ミーティングを年4回開催し、研修会、事例検討、経験交流、患者会との交流などを行う
	がん患者の就労支援を行う体制づくりをする	組織的な就労支援に対する取り組みが行われていないか、もしくは施設によって大きな差異がある。	1) 兵庫県社会保険労務士会と協働し、社会保険労務士による相談が各病院で実施可能な体制にする。 2) 兵庫県と協働し、ハローワークにがん患者の就労支援に詳しい職員を配置できるような流れを行う。 3) 兵庫県にある事業所に対してがん患者が就労を継続できるような働きかけを県と協働して行う。	H29年3月	一部達成	1)について、整備状況は以下の通り。 兵庫県大;独自で、社労士、FPとの連携事業を実施。ハローワーク西宮との連携事業を開始。 神戸医療センター中央市民病院;神戸大学医学部付属病院;社労士協会と連携 県立がんセンター;産業保健総合支援センターの両立支援相談員との両立支援事業を開始した(関西労災と同様の方法) 2)、3)は、実施していない。	継続	1)兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センターと拠点病院の連携事業について各拠点病院にインフォメーションを行う 2)がん患者が就労を継続できるよう、産業保健総合支援センター、ハローワークとの協働を図る
	がん患者のピアサポートの体制づくり・継続を支援する	ピアサポーターによる相談支援の運営、ピアサポーターの養成と活用の仕組みがない。全国平均は17%であり、水準に達していない。	1) がん患者のピアサポートに取り組む人材を育成する。 神戸大学と協働してピアサポーター養成講座を開催する。 ピアサポーター養成講座受講者の継続教育を目的としてフォローアップ研修会を実施する。 国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3か所設ける。	H29年3月	一部達成	は、9月15日(土)・16日(日)の2日間で実施した。は、12月10日AM0.5日で実施した。は、実施できず。	継続	1)がん患者のピアサポートに取り組む人材を育成する 神戸大学と協働してピアサポーター養成講座を開催する ピアサポーター養成講座受講者の継続教育を目的としてフォローアップ研修会を実施する 国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3か所設ける
	情報・連携部会の組織を強化し、迅速に意思決定し事業を行える体制を整える	部会の活発な活動が行われていない。部会員が、必ずしも現場の問題点を把握していない。事務局、行政、患者会と部会との連携が充分でない。	1) 情報・連携部会と実務者ミーティングを合併する。 2016年6月までに情報・連携部会の部会員として、がん相談に従事する実務者を選出してもらうよう各病院に依頼する。 2016年7月を目処に実務者ミーティングを廃止する。 実務者ミーティングの事務局は情報・連携部会事務局と名称を変えてその機能を存続させる。 情報・連携部会の開催や事務については、兵庫県がん診療連携協議会事務局に担当してもらうこととする。	H29年3月	一部達成	は、部長より継続的に相談実務者を部会員として頂くよう依頼を行っている。2017年1月10日現在、国指定14病院のうち、部会員が実務者になっている病院は、10病院。県指定9病院のうち4病院である。は、実施できず。	継続	1)情報・連携部会と実務者ミーティングを合併 2017年6月までに情報・連携部会の部会員として、がん相談に従事する実務者を選出してもらうよう各病院に依頼する 2017年7月目処に実務者ミーティングを廃止 実務者ミーティングの事務局は情報・連携部会事務局と名称を変えてその機能を存続させる 情報・連携部会の開催や事務については、兵庫県がん診療連携協議会事務局に担当してもらう
	県内のがん相談支援の質の向上を推進する人材を育成する。	兵庫県内ではがん専門相談員は3病院に4名しかいない。(全国で233名)今後この資格はがん診療拠点病院の指定要件になる可能性があり、養成するのが賢明と考える。また、人口や拠点病院の数から考えて有資格者が少なすぎる。	1) 2017年3月までに国立がん研究センター認定のがん専門相談員の認定者を県内で4名育成する。 情報連携部会で、認定に必要な研修を年1回以上開催する。 各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うように、協議会、県からも働きかけを行う。	H29年3月	達成	1)今年度新たに認定者が9名となり、県内の認定者は合計13名となった。国指定拠点14病院のうち6病院に認定者がいる状況となった。 についても、10月1日に行うがん相談実務者会議で就労支援をテーマとして研修を行った。 についても、部会を通じて働きかけを行った。	継続	1)国立がん研究センター認定のがん専門相談員の認定者を県内で4名育成する がん相談実務者ミーティングで、認定に必要な研修を1回は開催する 各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うよう部会からも働きかけ 国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修に受講生を派遣する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

(平成29年度 P D C A サイクル実施計画・管理表)

平成29年4月1日 現在

部 会 名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
情 報 連 携 部 会	がん相談支援の質の向上、活用の促進に努める	県内のがん相談支援センターの支援提供体制については、統一したツールに基づく評価が必要である。	1)各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う 2017年6月までに、各病院の相談支援部門の活動を国立がん研究センターが作成したチェックリストを用いてチェックし、問題点を明らかにする 上記は毎年3月に定期的に行うこととする 2)各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う PDCAサイクルの書式に則り、2017年6月までに医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる 3)各病院の相談員の能力の維持向上を図る 実務者ミーティングを年4回開催し、研修会、事例検討、経験交流、患者会との交流などを行う	H30年3月					
	がん患者の就労支援を行う体制づくりをする	県内の各がん相談支援センターでの就労支援体制の整備が十分ではない現状がある。	1)兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センターと拠点病院の連携事業について各拠点病院にインフォメーションを行う 2)がん患者が就労を継続できるよう、産業保健総合支援センター、ハローワークとの協働を図る	H30年3月					
	がん患者のピアサポートの体制づくり・継続を支援する	県内のピアサポートの体制整備が不十分である。	1)がん患者のピアサポートに取り組む人材を育成する 神戸大学と協働してピアサポーター養成講座を開催する(9/30・10/1開催予定) ピアサポーター養成講座受講修了者の継続教育を目的としてフォローアップ研修会を実施する(12月予定) 国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3か所設ける	H30年3月					
	情報・連携部会の組織を強化し、迅速に意思決定し事業を行える体制を整える	がん相談実務者MTは部会の下部組織となっているため、協議会の情報伝達や意思決定の遅滞を招いている	1)情報・連携部会と実務者ミーティングを合併する 2017年6月までに情報・連携部会の部会員として、がん相談に従事する実務者を選出してもらうよう各病院に依頼する 2017年7月を目処に実務者ミーティングを廃止する 実務者ミーティングの事務局は情報・連携部会事務局と名称を変えてその機能を存続させる 情報・連携部会の開催や事務については、兵庫県がん診療連携協議会事務局に担当してもらうこととする	H30年3月					
	県内のがん相談支援の質向上を推進する人材を育成する	県内でのがん相談支援の質向上を推進する人材が不足している	1)国立がん研究センター認定のがん専門相談員の認定者を県内で4名育成する がん相談実務者ミーティングで、認定に必要な研修を1回は開催する 各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うよう に部会からも働きかけを行う 国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修に受講生を派遣する。	H30年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項 目	内 容
平成28年度の活動報告	<p>がん登録実務者ミーティングの開催(年3回開催予定)</p> <p>第1回・がん登録実務者初級者研修会 (5月11日:県立がんセンター) ・講師:県立がんセンター消化器外科部長 千堂宏義氏 国立がん研究センターがん対策情報センター がん登録センター 江森佳子氏</p> <p>・ 第2回・がん登録実務者研修、グループ討議等 (11月15日:西神戸医療センター) テーマ:院内がん登録統計・分析のホームページでの発信 がん登録の情報活用 等</p> <p>・ 第3回・がん登録実務者研修、グループ討議等 (2月24日:県立がんセンター) テーマ:2014年登録数と、治療別集計の分析と今後の登録についての検討</p> <p>「都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会」への参加</p> <p>・ と き:6月4日</p> <p>・ ところ:国際研究交流会館(国立がん研究センター)</p> <p>・ 内 容:報告事項(がん登録推進法施行等の状況、院内がん登録2014年全国集計結果 等) 検討事項(全国集計の公表方法、予後調査支援事業 等)</p> <p>* 全国がん登録実務者研修会の開催 (9月26日:兵庫県民会館) ・テーマ:全国がん登録への届出実務～基本と演習 ・講 師:国立がん研究センターがん対策情報センター がん登録センター室長 松田智大氏</p>
平成29年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>がん登録実務者ミーティングの開催</p> <p>・ 年3回開催予定 (開催予定時期:5月24日、9月15日、2月) 第2回・がん登録実務者初級者研修会 (9月15日:兵庫県学校厚生会館)</p> <p>「都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会」への参加</p> <p>・ 6月16日開催予定</p> <p>* 全国がん登録に関する研修会の開催 開催時期、内容等調整中(8月下旬開催予定)</p>

《平成28年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

平成29年 3月末 現在

部署名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
がん登録部会	がん診療情報を収集・分析する体制整備(がん診療連携拠点病院の役割)	拠点病院の指定要件に院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法をホームページにて広報することが挙げられているが、こども病院を除く国拠点14病院の1割強は登録数、6割弱は治療法が掲載されていない現状で、集計方法もさまざまである。	都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件として、県内の院内がん登録に関する情報の収集を行っている事とあり、こども病院(小児拠点病院)を除く国指定のがん診療連携拠点14病院の院内がん登録情報を持ち寄り分析したデータをごん診療連携協議会のホームページにまとめて広報することなど検討する。	H29年3月		達成	がん診療連携協議会のホームページに、国指定の拠点病院だけでなく、県指定の拠点病院、準じる病院も含め、院内がん登録を行っている施設の2014年院内がん登録数等のデータを掲載した。	継続	患者等に役立つデータの掲載に向け、より充実した内容になるよう、実務者ミーティング等で検討を加えていく。
	がん登録実務の精度向上	昨年度から、がん登録実務者の認定及び更新試験が実施され、国や患者が求めるがん登録実務者の技能が高くなっている。 また、平成28年1月、がん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務をめぐる制度改変の時期を迎えており、それに対応した実務者のレベルアップが課題となっている。	今年度は、法律の制定に伴い院内がん登録の運用マニュアルや新標準登録様式での登録が始まるため、兵庫県がん診療連携協議会がん登録部会の下部組織である実務者ミーティングの事務局メンバーが主体となり、がん登録実務者が情報共有できる場を企画・運営し、年に3回(5・11・2月)開催する。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する中級者研修や更新試験、今年度から始まる上級者研修で登録データを集計・分析する実務研修に積極的に参加し技能を磨く。	H29年3月		達成	がん登録実務者ミーティングを3回(5/11、11/15、2/24)開催した。このうち第1回目の会議には国立がん研究センター等から講師を迎え、初級者向けの実務者研修とした。	継続	平成29年度もがん登録実務者ミーティングを3回開催するとともに、初級者研修会を引き続き実施し、実務者の質向上を図っていく。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。

《平成29年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

平成29年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を収集・分析する体制整備(がん診療連携拠点病院の役割)	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 昨年度より県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院の登録数を掲載しているが、掲載内容は施設別・部位別の件数・割合のみであり、治療法等の掲載はない。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会の下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねいく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	H30年3月					
	がん登録実務の精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。	年3回(5月、11月、2月)開催するがん登録実務者ミーティングにおいてがん登録に係る情報を共有する。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。	H30年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

平成28年度 がん登録実務者ミーティング（概要）

	開催日	内 容	開催場所	参加者
第1回	5月11日	がん登録実務者初級者研修 テーマ：原発性肝臓取り扱い規約第6版の変 更点 講 師：県立がんセンター消化器外科 部長 千堂宏義氏 テーマ：新標準登録様式、多重癌ルール 講 師：国立がん研究センターがん対策 情報センター 江森佳子氏	県立がんセ ンター	41病院 71人
第2回	11月15 日	県内の部位別 2015 年院内がん登録数に ついて グループ討議、発表、意見交換 テーマ：がん登録の情報活用～各施設 のがん登録数の集計や自施設 の強み等の発信方法の検討等 院内がん登録標準登録様式 2016 年版の 事 前質問に対する回答	西神戸医療 センター	36病院 56人
第3回	2月24日	2014年登録数と、治療別集計の分析と今 後の登録についての検討 ・兵庫県がん診療連携協議会ホームペー ジ公表案について ・兵庫県で登録数の多い3大がん（大腸・ 肺・胃）の病期・治療別 2014 年集計 結果の分析について ・初回治療の定義、標準登録様式の適用時 期に沿った登録について	県立がんセ ンター	38病院 58人

全国がん登録実務者研修会（概要）

開催日	内 容	出席者数
9月26日	開催場所：兵庫県民会館 テ ー マ：全国がん登録への届出実務～基本と演習 講 師：国立がん研究センターがん対策情報センター がん登録センター室長 松田智大氏	145人

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会主催
平成 29 年度 第 1 回 兵庫県がん登録実務者ミーティング 次第

開催日時：平成 29 年 5 月 24 日（水）14:00～16:30

開催場所：兵庫県立がんセンター 2 階大会議室

1. 開会

2. 挨拶

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 部会長 山下 輝夫
（兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課 参事）

3. 議事

(1) 兵庫県院内がん登録実務者ミーティング開催要領と今後の活動について

- 各圏域ブロックにおける治療統計分析 -

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 副部会長 山口真理子
（県立がんセンター がん登録室 主査）

(2) 兵庫県で登録数が多いがん（大腸・肺・胃）の病期・治療法別 2014 年集計結果分析

・グループ討議

(3) 兵庫県がん診療連携協議会ホームページでの公表のしかた（見せ方）について

・グループ討議

(4) 発表、意見交換

4. 総括

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 部会長 山下 輝夫
（兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課 参事）

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 副部会長 山口真理子
（県立がんセンター がん登録室 主査）

5. 全国がん登録 お知らせ

兵庫県健康福祉部疾病対策課 がん・難病対策班 班長 鶴井 成央

6. 閉会

兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項目	内容
平成28年度の活動報告	<p>第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会(12月12日,国がん)</p> <p>兵庫県緩和ケアチーム研修会(平成29年1月14日(土))</p> <p>上記会議、柏原病院主催・兵庫県私学会館にて開催(88名参加)</p> <p>平成28年度緩和ケア研修会指導者の会と患者会との合同検討会(平成29年1月14日(土))</p> <p>上記会議、兵庫県私学会館にて開催(30名参加)</p> <p>緩和ケア研修会の開催</p> <p>兵庫県緩和ケアチームのメーリングリスト開設(http://www.hyogo-ganshinryo.jp/palliative_care/index.html)</p> <p>緩和ケア部会企画運営委員の設置</p>
平成29年度の活動計画及び今後の検討課題等	<p>都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会(未定)</p> <p>兵庫県緩和ケアチーム研修会(平成29年11月11日 於私学会館 近畿中央病院主催)</p> <p>緩和ケア研修会指導者の会と患者会との合同検討会(平成29年11月11日) 於私学会館</p> <p>緩和ケア研修会の開催(がん診療連携協議会HPにて掲載)</p> <p>緩和ケアフォローアップ研修会の開催(平成30年1月8日) 於私学会館</p>

〔平成28年度PDCAサイクル実施計画・管理表〕

平成29年 3月末 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
緩 和 ケ ア 部 会	緩和ケアチームによるPDCAサイクルを用いた緩和ケアの推進	PDCAによる計画を公表したのは32施設にとどまる。	周知不足であれば、昨年同様に、PDCAを用いた推進計画を作るよう促す。 作成方法がわからない事に起因していれば、アドバイスを受けることのできる機会をつくる。	H29年1月		達成	緩和ケアチーム研修会への参加施設は、33施設となった。	継続	さらに参加施設を増やすようにする。
		PDCAのプランの作成のしかたが妥当でないかもしれない。	緩和ケアチーム研修会前に、プランの作成方法が妥当であるか、アドバイスを受けることのできる機会をつくる。 緩和ケア研修会のGWにおいて、他施設の意見を聴く。	H29年1月		概ね達成	緩和ケアチーム研修会の内容に、PDCAサイクルについての評価をピアレビューにより行うセッションを取り入れた。	継続	ピアレビューは、概ね好評であったが、ピアレビュー効果は来年評価する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

（平成29年度 P D C A サイクル実施計画・管理表）

平成 29年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
緩 和 ケ ア 部 会		PDCAによる計画を公表したのは32施設から25施設に減少。国指定でも9施設にとどまる。	周知不足の可能性もあり、メーリングリスト上で、PDCAを用いた推進計画を作るよう促す。	H29年11月					
	緩和ケアチームによるPDCAサイクルを用いた緩和ケアの推進	各病院での課題が明確でないかもしれない	緩和ケアチーム研修会前に課題を整理するようながす。 緩和ケアチーム研修会のGWにおいて、他施設の意見を聴く。	H29年11月					
		PDCAのプランの作成のしかたが妥当でないかもしれない。	作成方法がわからない事に起因していれば、アドバイスを受けることのできる機会をつくる。 緩和ケアチーム研修会のGWにおいて、他施設の意見を聴く。	H29年11月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会緩和ケア部会コアメンバー会議規約（案）

（目的）

第 1 条 兵庫県内の緩和ケアチームなどの円滑な連携調整、兵庫県がん診療連携協議会緩和ケア部会（以下、部会）における課題の確認・明確化を行い、部会の効率的な運営を図るとともに、緩和ケアに関する教育・研修などの企画、立案を行う。

（構成）

第 2 条 部会コアメンバー会議の構成員は、下記のものとする。

- 1) 部会長
 - 2) 副部会長
 - 3) 部会長、副部会長の所属する施設で緩和ケアに携わるもの（若干名）
 - 4) 部会員の所属する施設の緩和ケアに携わるものから部会長が指名するもの（若干名）
- 2 構成員は、部会での承認の後、委嘱されるものとする。
- 3 構成員の任期は 2 年とし、再任は妨げない。ただし、構成員に欠員が生じたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（開催）

第 3 条 会議は、部会長が必要と認めた場合に開催する。

- 2 兵庫県がん診療連携拠点病院である兵庫県立がんセンターが招集する。
- 3 会議での決議事項は、緩和ケアチーム ML にて各部会員に伝達する。

（所掌事項）

第 4 条 会議では、以下の項目について検討する。

- 2 部会の運営について
- 3 部会における課題の確認・明確化
- 4 部会の年間計画の立案
- 5 緩和ケアに関する研修会などの企画・立案・運営

（附 則）

この規約は、平成 29 年@@月@@日から施行する。

がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画では、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが求められています。
これを受け、兵庫県では、厚生労働省の開催指針(平成20年4月1日付け健発0401016号厚生労働省健康局長通知)に沿った緩和ケア研修会を、下記のとおり開催いたします。

☑ 受講について

平成28年4月より、兵庫県では新標準プログラムに準拠した単位型研修会での開催となります。受講にあたり、以下の点にご注意ください。

1. 単位の取得にあたっては、A課程及びB課程の一括受講をおすすめしますが、2日間の参加が難しい場合は、A課程、B課程を別々の施設で受講することができます。

但し、28年度より新プログラムとなっています。27年度までにA課程のみ受講している方は再度、新A課程より受講してください。

2. がん性疼痛の評価と治療、がん性疼痛事例検討(グループディスカッション)、オピオイドを開始するとき(ロールプレイ)など、12時間以上で構成される内容を2日間で履修します。
日程をA過程とB過程に分割し、それぞれに単位を設けます。A課程(1日目)修了後にB課程(2日目)を受講できるものとします。

[兵庫県緩和ケア研修会単位型プログラム\(PDF: 17KB\)](#)

3. すべてのプログラムを修了した医師には、兵庫県知事ならびに、厚生労働省健康局長より修了証が授与されます。(途中退室あるいは一部の研修を欠席された場合は授与されません)
4. A課程のみ受講された方には、研修会主催責任者が修了証書を交付します。(B課程受講の際に必要となりますので大切に保管ください)
5. 研修会の申し込みは、病院ごとに行います。詳細は主催病院に直接おたずねください。

[ページの先頭へ戻る](#)

☑ 平成29年度 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会予定表(H29.6.7現在)

開催日 上段:A課程 下段:B課程	主催病院	定員	コメディ カルの 募集	電話番号	問い合わせ先 事務担当	企画 責任者	締切日 備考など
A:4月15日(土) B:4月16日(日)	兵庫医科大学病院			0798-45-6611	管理課 松本	酒田 大輔	
A:4月22日(土) B:4月23日(日)	神戸大学医学部 附属病院			078-382-5111	がん相談室 伊藤・樋口	木澤 義之	4/22は午前から
A:5月13日(土) B:5月14日(日)	関西労災病院			06-6416-1221	医事課	池田 和世	募集終了
A:5月27日(土) B:5月28日(日)	神戸大学医学部附属 病院			078-382-5111	がん相談室 伊藤・樋口	木澤 義之	5/27は午前から
A:5月27日(土) B:5月28日(日)	姫路赤十字病院			079-294-2251	総合相談支援課 井上・片岡	福永	定員に達したため募集 終了
A:5月27日(土) B:5月28日(日)	宝塚市立病院			0797-87-1161	経営統括部 大久保	吉川 善人 野間 秀樹	両日 午前9時より開始
A:6月3日(土) B:6月4日(日)	神戸市立医療センター 中央市民病院			078-302-4321	地域医療推進課 徳成	幸 美於	募集終了
A:6月3日(土) B:6月4日(日)	赤穂市民病院			0791-43-3222	地域医療室 西山、富田	横山 弥栄	定員に達したため募集 終了
A:6月10日(土) B:6月11日(日)	JCHO神戸中央病院			078-594-2211	総務企画課	三田 礼子	
A:7月8日(土) B:7月9日(日)	県立柏原病院			0795-72-4270	がん相談支援セ ンター	坂倉 崇泰	
A:7月8日(土) B:7月9日(日)	神戸医療センター			078-791-0111	企画課 川崎	山川 直	7/8は午前から 定員に達したため募集 終了
A:8月5日(土) B:8月6日(日)	市立西脇病院			0795-22-0111	医事課 明山・高橋	木村 祥子	
A:9月2日(土) B:9月3日(日)	姫路医療センター			079-225-3211	がん相談支援室 岡庭	和田 康雄	
A:9月16日(土) B:9月17日(日)	県立淡路医療センター			0799-22-4200		濱中 章洋	

- [がん診療連携拠点病院](#)
- [兵庫県がん地域連携パス](#)
- [兵庫県緩和ケア研修会](#)
- [兵庫県がん対策推進計画](#)
- [兵庫県がん登録情報](#)
- [がん相談支援センター一覧](#)
- [関連情報リンク](#)

				ンター 岡田加茂子		
A:9月30日(土) B:10月1日(日)	県立西宮病院		0798-34-5151	総務課 清水	福永 隆	定員に達したため 募集終了
A:10月14日(土) B:10月15日(日)	西神戸医療センター		078-997-2200	(総務課) (医事課)	今中 一文	
A:11月3日(金) B:11月4日(土)	県立がんセンター		078-929-1151	総務課 小栗・熊谷	池田 淳一	11/3.4とも午前から
A:11月25日(土) B:11月26日(日)	県立尼崎総合医療センター		06-6480-7000	医事課 増田	平林 正孝	
A:12月2日(土) B:12月3日(日)	神鋼記念病院		078-261-6711	地域医療連携室 河野	浅石 真実	両日とも午前から
A:12月9日(土) B:12月10日(日)	加古川医療センター		079-497-7000	総務課 藤本	坂下 明大	
A:12月9日(土) B:12月10日(日)	公立豊岡病院		0796-22-6111	管理課 保田・本井	遠藤 真一 郎	A課程:午後から B課程:午前から
A:12月16日(土) B:12月17日(日)	兵庫医科大学病院		0798-45-6611	管理課 松本	福田 大輔	

平成30年

A:1月20日(土) B:1月21日(日)	近畿中央病院		072-781-3712	地域医療係 寺内	合置 晋	
A:2月17日(土) B:2月18日(日)	市立伊丹病院		072-777-3773	総務課 田中 久雄	榎木 健志	
A:2月24日(土) B:2月25日(日)	加古川中央市民病院		079-451-8610	人事課 村尾	竹中 かがり	

基本的に1日目のA課程は午後開始ですが、午前開始の研修会は備考欄に示しています。

また、参加者が院内対象の研修会も掲げていますので、ご注意ください。

※開催日は、主催者の事情等により変更になる場合があります。

- ※緩和ケア研修会修了者の平成24年度累計 : 416名
- ※緩和ケア研修会修了者の平成25年度累計 : 373名
- ※緩和ケア研修会修了者の平成26年度累計 : 415名
- ※緩和ケア研修会修了者の平成27年度累計 : 688名
- ※緩和ケア研修会修了者の平成28年度累計 : 810名
- ※緩和ケア研修会修了者の累計 : 4,027名

(平成29年3月31日時点)

[ページの先頭へ戻る▲](#)

☑ 研修会案内ポスター

研修会案内ポスター



クリックするとPDFファイルを表示します。(PDF: 72.0KB)

[ページの先頭へ戻る▲](#)

☑ 緩和ケア研修会修了者について

- [平成28年度緩和ケア研修会修了者名簿\(680名\)\(PDF: 283KB\)](#)
- [平成27年度緩和ケア研修会修了者名簿\(552名\)\(PDF: 209KB\)](#)
- [平成26年度緩和ケア研修会修了者名簿\(346名\)\(PDF: 168KB\)](#)
- [平成25年度緩和ケア研修会修了者名簿\(372名\)\(PDF: 136KB\)](#)
- [平成24年度緩和ケア研修会修了者名簿\(349名\)\(PDF: 203KB\)](#)
- [平成23年度緩和ケア研修会修了者名簿\(373名\)\(PDF: 189KB\)](#)

※この名簿は研修会受講の際、氏名及び所属を公開することに本人の同意のあった方のみを公開しております。

※氏名の氏名につきましては、表記が変更になっている場合があります

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項目	内容
平成28年度の活動報告	<p>5大がんパスを見直した上で修正し、兵庫県がん診療推進連携協議会のパス部会および幹事会で承認した。修正後の5大がんパスを兵庫県がん診療連携協議会のHPに掲載し周知を図った。</p> <p>大腸癌ESDパスを作成した。</p> <p>肺がんのイレッサとタルセバのパスを作成し、検討した。</p> <p>電子化については問題点を整理し解決方法を検討した。</p>
平成29年度の活動計画及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肺がんのイレッサとタルセバのパスに関しては、継続審議とする。 ○ 大腸癌ESDパスの運用につき検討する。 ○ 電子化について、継続審議する。

〔平成28年度 P D C A サイクル実施計画・管理表〕

平成29年 3月末 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
					区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)	
が ん 地 域 連 携 バ ス 部 会	バスの利用率の向上	バスの利用率は徐々に向上しているものの、いまだ十分とは言いがたい。特に県指定拠点病院や準拠点病院での利用率は低く利用率の向上が望まれる。	1) 27年度のバスの運用状況について調査を行う。 2) すべての拠点病院での運用を図る。 3) 利用率の上がない施設での、問題点や取り組みについての報告会を開催する。	H29年3月		未達成	バスの利用率向上に向けて、各拠点病院に促進を依頼した。	継続	継続的に利用率の向上を進める。
	5大がんのバスの修正と登録	兵庫県統一バスの利用を開始して昨年で5年が経過し、バスの問題点を見直してきた。今年度は、改正されたバスをHPに登録し、拠点病院に周知し、利用率の向上に努める。	1) 5大がんのバスを修正し、新たな統一バスとして使用する。 2) 修正後の5大がんバスを兵庫県がん診療連携協議会のHPに掲載し周知を図る。	H29年3月		達成	5大がんのバスの見直しを実施し兵庫県がん診療連携協議会のHPに掲載した。	完了	修正したバスの利用率の向上を目指す
部 会	新規バスの作成	現在5大がんのバスのうち、大腸内視鏡治療のバス、および肺がんの術後補助療法のバスの要望があり、現在作成中。今年度中に作成し、HPに登録を目指す。バスの電子化については、一般化や費用の面で問題点があり今後の検討が必要。	1) 大腸がんESDバスを新たに追加作成する。 2) 肺がんのイレッサとタルセバのバスを作成する。 3) 電子化については問題点を整理し解決方法を検討する。	H29年3月		概ね達成	大腸がんESDのバスを作成していただき、検討した。新しいバスとして承認した。肺がんのイレッサとタルセバのバスを作成していただいた。	継続	新しいバスの運用を開始する。使用後に問題点を検討する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

(平成29年度 P D C A サイクル実施計画・管理表)

平成29年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D	C 評価		A 改善	
					実行	区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
地 域 連 携 部 会	バスの利用率の向上	バスの利用率は徐々に向上しているものの、いまだ十分とは言いがたい。特に県指定拠点病院や準拠点病院での利用率は低く利用率の向上が望まれる。	1 28年度のバスの運用状況について調査を行う。 2 すべての拠点病院での運用を図る。 3 利用率が上がらない施設での、問題点や取り組みについての報告会を開催する。	H30. 3					
	新規バスの作成	大腸内視鏡治療のバスの運用の検討が必要である。肺がんの術後補助療法のパスの要望があり、現在作成中。今年度中に作成し、HPに登録を目指す。 バスの電子化については、一般化や費用の面で問題点があり今後の検討が必要。	1 大腸がんESDバスの運用を検討する。 2 肺がんのイレッサとタルセバのパスを作成する。 3 電子化については問題点を整理し解決方法を検討する。	H30. 3					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。